

令和7年度

第1回

桑折町総合教育会議

会議録

令和7年11月7日（金）

令和7年度 第1回桑折町総合教育会議

日時：令和7年11月7日（金）

午後3時30分～

場所：桑折町役場 大会議室

次 第

1. 開 会

2. 町長あいさつ

3. 「桑折町立小・中学校のあり方に関する基本方針」手交

4. 協 議（議長：町長）

「今後の小・中学校のあり方検討」について

5. その他

6. 閉 会

令和7年度 第1回桑折町総合教育会議 出席者名簿

令和7年11月7日(金) 15:30～ 桑折町役場 大会議室

(敬称省略)

		役職等	氏名	備考
構 成 員	桑折町	町 長	高 橋 宣 博	(議長)
	桑折町 教育委員会	教 育 長	佐 藤 浩 哉	
		委 員	柴 田 宣 広	
		委 員	鈴 木 キヨ子	
		委 員	小 野 紀 章	
		委 員	長 谷 富 子	
事 務 局	桑折町	参事兼総務課長	大 内 健 矢	
		総務課課長補佐 兼行政係長	幕 田 将 則	[進行]
		総務課行政係	阿 部 典 子	[書記]
	桑折町 教育委員会	参事兼 教育文化課長	八 巻 靖 之	
		教育文化課 副参事	佐 藤 克 彦	
		教育文化課 こども教育係長	菅 野 健 二	[書記]
		教育文化課 こども教育係	佐 藤 太 宥	[書記]

15 : 30 開会

(事務局) ただ今より、令和7年度第1回桑折町総合教育会議を開会します。
初めに、町長よりごあいさつを申し上げます。

(町長) 教育委員の皆様には、日頃より教育行政はもとより、町政各般にわたるご
理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

教育現場においては、「桑折町の15歳のめざす姿」の実現に向けた各種取
組が推進されており、大変喜ばしく感じております。

本日は、「小・中学校のあり方の基本方針」について、皆様の意見をお聞き
し、今後の教育政策の方向性を考える機会といたしますので、よろしくお願
いします。

(事務局) 続きまして、「桑折町立小・中学校のあり方に関する基本方針」について、
教育長より町長への手交を行います。

(教育長) 桑折町小・中学校のあり方検討委員会からの提言を受け、去る10月29日
に教育委員会定例会において、議決されました。よろしくお願いいたします。

「桑折町立小・中学校のあり方に関する基本方針の決定について」の手交

(町長) ありがとうございます。

(事務局) 続きまして、協議に移ります。
協議は、町長を議長としまして、進行をお願いします。

(町長) しばらくの間、議長を務めます。

「桑折町小・中学校の統合に向けた検討経過」及び「桑折町立小・中学校
のあり方に関する基本方針」について、教育文化課長からの説明の後に、委
員の皆様からご意見をいただきますので、よろしくお願いいたします。

(教育文化課長) 「桑折町小・中学校の統合に向けた検討経過」及び「桑折町立小・中学校
のあり方に関する基本方針」について説明

(町長) 「桑折町小・中学校のあり方調査・研究委員会」及び「桑折町小・中学校
のあり方検討委員会」における2年以上にわたる検討を踏まえた上での貴重
な提言をいただくとともに、方針を決定いただきました教育委員会委員の皆
様には、心より感謝を申し上げる次第です。

続いて、皆様よりご意見をいただきます。

(柴田委員) 少子化による小学校入学者の減少から、小・中学校のあり方検討委員会が設置されました。小学校の統合や中学校の規模縮小が見込まれる中で、「子どもファースト」の視点から、専門的な指導ができる教員等の確保や教育予算の集中により、教育の質の向上が期待できる義務教育学校の設置に賛成します。全国一律の等しい教育が提供されるために、また、子どもたちの新しい未来を築くためにも必要な施策であると考えます。

(町長) ありがとうございます。本町の出生数は厳しい現実であり、来年度には陸合小学校の全学年が複式学級となるほか、学校間における教育環境の格差が生じており、統合は論を待たない結論であると考えます。

また、教育はお金の問題で語るべきものではないとは言え、現在の維持管理予算を集中させることで、新たな教育への投資も可能となります。「桑折町の15歳のめざす姿」ととどまることなく、しっかりと社会を力強く歩んでいけるよう、子どもたちの育成に努めていきたいという思いです。

(鈴木委員) 小・中学校のあり方に関する町民等アンケートやあり方検討委員会等において、児童・生徒数が減少する危機感と学校統合の必要性が共有されました。9年間を一つの学校で指導することができる義務教育学校は、中一ギャップの解消や子どもたちの安心の確保にもつながるものと考えます。

また、「桑折町の15歳のめざす姿」を実現するために、新しい教育環境を整えることは、町を一つのふるさととして学び、共通の文化的・歴史的価値観や愛着心、地域貢献の志などを育むことにつながることから、義務教育学校に賛成します。

(町長) ありがとうございます。町制施行70周年の節目にあって、昭和30年の合併当時と現在では、児童・生徒数が全く違う状況にあり、この厳しい現実を避けて通れないことから、新たな時代に歴史を刻む学校教育を実現していきたいという思いです。

義務教育学校の学年の区切りについては、今後設置される義務教育学校設置準備委員会において、検討されることと思いますが、「桑折ならでは」というのも一つの考え方になるのではないかと思います。

(小野委員) 少子化による学校の統合というネガティブな所から始まった議論でしたが、ポジティブに捉えれば、数十年に一度のことであり、教育環境の大きな変化とともに対応が求められる中で、新たな教育スタイルを導入していくことが一番の方法であると考えます。

義務教育学校・小中一貫校という形の中で、義務教育学校が良いと感じるのは、カリキュラムがある程度自由であるという部分が大きいと思います。義務教育学校という形で先生方に少しでもゆとりができて、子どもたちに目

が届くようになれば、少人数教育を望む保護者の希望にも対応できるのではないかと思います。義務教育学校による質の高い教育環境を整えることで、子育て支援への高い評価に加えて、桑折町で教育を受けたいと思ってもらえる大きなチャンスになると捉えて、新しい制度を導入していただきたいと思っています。

(町長) ありがとうございます。2年余りをかけて、あり方検討委員会の皆様方にも各界各層から参画をいただいて、十二分な議論をいただいた提言だと思っております。加えて、教育委員会委員の皆様方より具体的に義務教育学校という方向性までお示しいただきました。皆様の思いと共に新しい時代を創っていくうえでは、少子化の要因にとどまることなく、選ばれるまちになるべく、学校教育のあり方という視点を大切にしながら、大変革を遂げてまいりたいと考えております。

また、現在の学校において、支援を必要とする児童・生徒が増加している状況にあることから、支援員の配置等にも配慮しながら、誰一人取り残すことのない優しい教育を提供してまいりたいと思っております。

(長谷委員) 小・中学校のあり方に関する町民等アンケートでは、学校の統合を希望する意見が多数であったことから、小中一貫校と義務教育学校との検討では、子どもたちの9年間の成長を見届けることができる義務教育学校が望ましいと考えました。

義務教育学校には、それぞれの学校が持つ伝統や特色が継承されるとともに、予算の集中による教育環境の充実や柔軟なカリキュラムによる部活動の指導を含めた先生方の負担軽減が図られることを期待するものです。

(町長) ありがとうございます。義務教育学校の柔軟なカリキュラムにより、先生方の負担軽減が図られ、それぞれの個性と能力を一層活かしていただけるものと思っております。

また、学校教育においては、子どもたちが同じ条件の下で充実した学校生活を送れるよう、環境を整備していく必要があることは従前のおりであります。今後は、それぞれの学校や地域の伝統を継承していくことが大事であると考えております。

それでは最後に、教育長からお話をいただきたいと思っております。

(教育長) 義務教育学校が必要であるとする一番の理由は、現在の少人数教育における子どもたちのコミュニケーション力による社会性というものに対して、保護者の皆様が不安を持っており、それを解消しなくてはならないということです。

義務教育学校において、発達段階に応じた支援を学年ごとに連携しながら

ら、9年間継続できることは、子ども一人一人の情報を共有できるほか、指導継続のうえで大きな利点であると考えております。

一定の教育を保障する役割という意味からも、本町の子どもたちが同じ教育を受けられること、教員の資質・能力の向上、負担の軽減にもつながり、子どもたちのためになると考えています。

また、専門性を高める教員の加配も期待されるほか、カリキュラムが柔軟であることから、教育の質的向上を総合的に成し遂げることができるということからも、義務教育学校が望ましいと考えた次第です。

(町長)

ありがとうございました。義務教育学校については、教育委員会として可及的速やかに設置する方針とし、それについて、皆様よりご意見をいただきました。町といたしましては、少子化の深刻な状況を踏まえ、1年でも早く統合をしていかなければならないと思っております。

また、小学校だけの議論に留まることなく、中学校との接続も加えて検討をいただき、教育委員会の方針として決定された義務教育学校については、尊重のうえ、しっかりと進めてまいりたいと思います。

今後の施設整備については、義務教育学校の設置として、現在の中学校との併設による敷地内完結が可能となれば、予算も時間も縮小できるため、現地調査をしたいと思いますが、委員の皆様方はどのようにお考えでしょうか。

(各委員がうなずき、賛成の意を表明)

ありがとうございます。教育委員会委員の皆様方のご意見を確認いたしましたので、現地調査に着手してまいりたいと思います。

今後、協議をさせていただきながら進めていく考えでありますので、引き続き皆様のご指導・ご協力を心からお願い申し上げます。

以上をもちまして、協議を終了し、議長の任を解かせていただきます。ありがとうございました。

(事務局)

以上をもちまして、令和7年度第1回桑折町総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。

16:40 閉会